

JSCA 構造設計者 スキルアップセミナー テキスト 正誤表

(平成20年6月26日発行分)

平成20年7月11日

該当 スライド番号等	誤 下線部訂正	正
第 編		
2 a)本文3行目	基規準等…	規準等…
2 b)本文1～2行目	…学会基規準等…	…学会規準等…
2 c)本文の下から2行目	〔昭55建告1790号〕 <u>廃止</u>	昭55建告1790号 <u>廃止</u>
9 下段右の図	<u>h</u>	<u>h₀</u>
12 本文1行目枠内	第 <u>1</u> 第2号	第 <u>2</u> 項第2号
13 5行目	・一次設計において <u>弾塑性解析</u> を行った場合には、…	・一次設計において <u>ひび割れを考慮した増分解析</u> を行った場合には、…
13 下から8行目	せん断ひび割れ強度 Q_c	せん断ひび割れ強度 $\sqrt{c} \cdot Q_c$
13 下から7行目	$V_c = \underline{t}_{scr} t_w l_w / K_w$	$V_c = \underline{\tau}_{scr} t_w l_w / K_w$
13 下から4行目の式の中のべき乗表示	$\beta = 0.24(R \times \underline{10^{-3}})^{0.75}$	$\beta = 0.24(R \times \underline{10^3})^{0.75}$
13 下から3行目の式の中のべき乗表示	$\beta = 0.29(R \times \underline{10^{-3}})^{1.00}$	$\beta = 0.29(R \times \underline{10^3})^{1.00}$
21 右列上枠内最下行	(P287: 解説)	(P288: 解説)
38 下から1～3行目	ガセットプレートの破断による場合 ・すみ肉溶接の場合 ・突合せ溶接の場合 溶接部で破断する場合	ガセットプレートの破断による場合 溶接部で破断する場合 ・すみ肉溶接の場合 ・突合せ溶接の場合
43 本文1行目	階数が2以下または…	階数が2以上または…
45 下部枠内	壁量充足比	壁量充足率
47 上から4行目	使用	仕様
47 表中[30以上×90以上の木材]2行目	当て各根平頭ボルト	当て角根平頭ボルト
48 表中[45以上×90以上の木材]2行目	当て各根平頭ボルト	当て角根平頭ボルト
49 右上囲み部分	技術基準解説書	資格取得テキスト
50 枠内2行目	第2 荷重及び第2 荷重及び外力によって…	第2 荷重及び外力によって…
50 最下行	応力の再配分されうる	応力は再配分されうる

JSCA 構造設計者 スキルアップセミナー テキスト 正誤表

(平成20年6月26日発行分)

平成20年7月30日

該当 スライド番号等	誤 下線部訂正	正								
第 編										
5 右下図説明部分	村上雅也氏	広沢雅也氏								
10 2行目	兆壁	帳壁								
12 上から4行目	第2種地盤:第1種地盤、第2種地盤	第2種地盤:第1種地盤、第3種地盤								
12 上から7行目	卓越周期、せん断波速度	卓越周期やせん断波速度								
12 下から2行目	急激に低減され、適用条件が厳しい	急激に低減する規定であるため、適用条件が厳しいものとなっている。								
17 表中[スリ-テン式サウンドイング試験]行	基礎底より2mの範囲程度	告示1113号第二による N_{sw} 値を求める調査対象範囲は基礎底より下方2m以内の距離								
22 上から4行目	…の柱脚曲げモーメント(外力)…	…の最下階支点に曲げモーメント(外力)…								
24 右上から1行目	既成杭	既製杭								
30 表中[床板(一般)]行	$t/lx > 1/30$	$t/lx > 1/30$								
30 表中[床板(片持)]行	$t/lx > 1/10$	$t/lx > 1/10$								
34 表(上部)下の文	メカニズム時せん断力 Q_m に対し…	保有水平耐力時せん断力 Q_m に対し…								
38 2行目	a) ルート1	a) ルート1 - 1								
38 最下行	(追加)	・積載荷重の大きな用途に供する建築物は除く								
41 左下から5行目	柱が <u> </u> で示した	柱が <u> </u>) で示した								
41 右6行目	メント M_{ym} として表す。	メント M_{yn} として表す。								
41 右10行目	$m =$	$w =$								
41 右11行目	全塑性耐力は $pM_{pm} =$	全塑性耐力は $pM_{pn} =$								
43 中央上から5行目	根巻き高さは柱径の	根巻き高さは鉄骨柱径の								
43 中央下から2行目	・鋼柱の頂部付近での局部座屈	・根巻き頂部付近での鋼柱の局部座屈								
55 左列第1行	(許容水平強度の考え方もある)	仕様規定除外の場合は許容水平強度								
58 左列第1行	階数:3F以下(地下無)	階数:3F以下								
58 左列第3行	国交告第593号第四号	国交告第593号第三号または第四号								
60 表中[履歴減衰(HD)]行	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">履歴減衰(HD)</td> <td style="padding: 2px;">鋼製弾塑性ダンパー 鉛ダンパー 摩擦ダンパー</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">摩擦減衰(FD)</td> <td style="padding: 2px;">摩擦ダンパー</td> </tr> </table>	履歴減衰(HD)	鋼製弾塑性ダンパー 鉛ダンパー 摩擦ダンパー	摩擦減衰(FD)	摩擦ダンパー	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">履歴減衰(HD)</td> <td style="padding: 2px;">鋼製弾塑性ダンパー 鉛ダンパー</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">摩擦減衰(FD)</td> <td style="padding: 2px;">摩擦ダンパー</td> </tr> </table>	履歴減衰(HD)	鋼製弾塑性ダンパー 鉛ダンパー	摩擦減衰(FD)	摩擦ダンパー
履歴減衰(HD)	鋼製弾塑性ダンパー 鉛ダンパー 摩擦ダンパー									
摩擦減衰(FD)	摩擦ダンパー									
履歴減衰(HD)	鋼製弾塑性ダンパー 鉛ダンパー									
摩擦減衰(FD)	摩擦ダンパー									
65 14行目	$T_f = 2\pi \sqrt{\frac{M}{k_f}} = 2\pi \sqrt{\frac{\sigma Ah}{4GA}} = \pi \sqrt{\frac{D\sigma}{GS_2}}$	$T_f = 2\pi \sqrt{\frac{M}{k_f}} = 2\pi \sqrt{\frac{\sigma \cdot A \cdot h}{g \cdot G \cdot A}} = 2\pi \sqrt{\frac{D \cdot \sigma}{g \cdot G \cdot S_2}}$ <p>Dをcm単位で表すと、</p> $T_f \approx 0.2 \sqrt{\frac{D \cdot \sigma}{G \cdot S_2}}$								
66 右下	$V_D = \frac{V_E}{1 + 3h + 1.2\sqrt{h}}$	$V_D = \frac{V_E}{1 + 3h + 1.2\sqrt{h}}$ <p>免震構造の場合は、$h = 0$として、$V_D = V_E$としている。</p>								
67 上から1行目	7-3 制振構造(1)	7-3 制振構造								
67 下から5行目	オイルは移動温度依存性…	オイルは温度依存性…								
68 下から5行目	…、にガタがあったり、…、制振部材に	…、ガタがあったり、…、制振部材に相対変形や相対速度が十分に伝達されなくなる。粘性減衰タイプのダンパーで居住性改善にも効果を期待する場合は、特にガタのないディテールにする必要がある。								
69 下から4行目	「建築設備耐震設計・設計施工指針」	「建築設備耐震設計・施工指針」								
71 右部	d) 稼働間仕切	d) 可動間仕切								
75 左下写真吹き出し	補強筋	(吹き出し先端を右側の鉄筋へ向ける)								
76 表右欄	既往の大地震	法令制定・改正								
78 タイトル	9-3 R C造建物の耐震診断	9-3 R C造建築物の耐震診断								
78 下から7行目	…、柱・梁の断面積…	…、柱・壁の断面積…								
78 下から5行目	柱・梁の断面…	柱・壁の断面…								
80 左列下から5行目	平面状および	平面および								
88 タイトル	10-2 基準階平面図と構造部図	10-2 基準階平面図と構造伏図								